

見どころガイド

1 ~ 5 『文化のみち』施設

名古屋城から、文化のみち二葉館、文化のみち榎木館などを経て、徳川園に至るエリアを「文化のみち」といいます。白壁・主税・榎木地区は大正から昭和初期を中心とした近代的な洋風建築が今も当時の面影を残し、市の町並み保存地区に指定されています。

1 名古屋城

15日[土]・16日[日] 無料

尾張名古屋のシンボルです。往事の姿を蘇らせた本丸御殿は、約10年に及び復元工事を終え、平成30年6月8日より完成公開しています。

- アクセス/地下鉄名城線「市役所」駅
7番出口徒歩約5分
- ☎231-1700(駐車場は有料)
- 9:00~16:30(本丸御殿への入場は16:00まで)



※天守閣は現在閉館しています。

2 市政資料館

大正11年に建設された建物は地方裁判所と区裁判所を含む名古屋控訴院で、現在は国の重要文化財に指定されています。この庁舎ができてから今年で100年になります。

- 【名古屋まつりポスター展】
10月8日(土)~10月16日(日)
- ※詳しくはP22に記載

- アクセス/地下鉄名城線「市役所」駅2番出口徒歩8分
- ☎953-0051 ●9:00~17:00



3 徳川園

16日[日] 無料

尾張徳川家ゆかりの名園。変化に富んだ景観が楽しめる池泉回遊式庭園です。16日は徳川園ガーデンホールにて「Autumn garden music ~秋のお庭で、ひとときを〜」と、美術館前広場では「黒門くらぶと市」を開催します。(徳川美術館、蓬左文庫は有料)

- ※開催中のイベントはP24に記載
- アクセス/市バス「徳川園新出来」徒歩3分
- ☎935-8988 ●9:30~17:30(入園は17:00まで)



4 文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)

16日[日] 無料

大正時代から近年まで現存していた建物を、創建当時の姿に移築復元。川上貞奴関連の資料や当時の調度品、また郷土ゆかりの文学資料なども展示公開。一部、国の登録有形文化財。

- ※開催中のイベントはP24に記載
- アクセス/地下鉄桜通線「高岳」駅2番出口徒歩10分
- ☎936-3836 ●10:00~17:00



10月16日[日]は、無料開放の施設がいっぱい。

※休館日など詳細については、各施設にお問い合わせください。

5 文化のみち榎木館

16日[日] 無料

井元為三郎が大正末から昭和初期に建てた邸宅。洋館、和館、茶室が庭を囲み、裏庭に二棟の蔵があります。洋館には、色鮮やかなステンドグラスがあり、喫茶室も併設。市指定有形文化財。

- ※開催中のイベントはP24に記載
- アクセス/地下鉄桜通線「高岳」駅1番出口徒歩10分
- ☎939-2850 ●10:00~17:00



6 市美術館

16日[日] 常設展無料

芸術と科学の杜・白川公園内にある美術館。エコール・ド・ナリ、メキシコ・ルネサンス、現代の美術、郷土の美術の作品を落ち着いた雰囲気の中で観賞できます。

- 名古屋市美術館特別展「クマのプーさん」展(有料)
10月8日(土)~11月27日(日)
- アクセス/地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅5番出口徒歩8分
- ☎212-0001 ●9:30~17:00、祝日を除く金曜日は20:00(いずれも入場は閉館の30分前まで)



7 愛知県美術館

有料

名古屋市の中心部「栄」に建つ複合文化施設「愛知芸術文化センター」の10階。ピカソやエルンストなどを始めとする20世紀美術を中心に、国内外の優品をコレクションしています。

- 【ジブリパークとジブリ展】有料(チケットなどの詳細は特設サイトでお知らせします)
10月29日(土)~12月25日(日)
- アクセス/地下鉄東山線・名城線「栄」駅/名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、オアシス21連絡通路利用徒歩3分
- ☎971-5511(代)
- 10:00~18:00 金曜日は20:00まで(入館は閉館30分前まで)



8 市博物館

16日[日] 常設展無料

歴史系博物館。常設展「尾張の歴史」では、旧石器時代から現代までの歴史を考古・歴史・美術工芸・民俗資料により幅広く紹介。ほか、国内外の優れた文化遺産を紹介するなどの展覧会も随時開催。

- 【常設企画展示「伊勢湾台風63年」「博物館と地域連携」「戸田白山社山車のからくり人形」(有料)※中学生以下無料]
8月24日(水)~10月23日(日)
- 【特別展 日中外交正常化50周年記念「兵馬俑と古代中国~秦漢文明の遺産~」(有料)※未就学児無料]
9月10日(土)~11月6日(日)
- アクセス/地下鉄桜通線「桜山」駅4番出口徒歩5分、市バス「博物館」
- ☎853-2655 ●9:30~17:00(入場は16:30まで)



9 三菱UFJ銀行貨幣・浮世絵ミュージアム

国内外の現存3枚という豊臣秀吉が作らせた「天正沢渡(おもだか)大判」や世界最古の貨幣「古代中国の貝貨」など日本および世界各国の貨幣を常設展示しています。浮世絵展示室では、歌川広重が描いた東海道を中心とした浮世絵版画の企画展を開催しています。

- 【浮世絵版画特別展「狂歌入東海道・江戸の遊び心 後期」全56点からなる揃物で画中に狂歌が記されることから「狂歌入東海道」と呼ばれる《東海道五拾三次》の展示です。狂歌には、宿場の名所や名物がユーモアたっぷりに詠まれており、江戸っ子たちの心意気を身近に感じることができます。本展では後半の見附宿から終着点京都までの旅路28点をご案内します。
8月3日(水)~10月30日(日)
- アクセス/地下鉄「伏見」駅3番出口徒歩5分、地下鉄「栄」駅8番出口徒歩5分
- ☎300-8686 ●9:00~16:00(入館は15:30まで)

